



イベントには約250人が参加した

介護の生産性向上へ

厚労省がガイドライン作成

厚生労働省は「介護サービス事業における生産性向上ガイドライン」を作成し、11日に公表した。居宅、施設、医療系ごとにまとめられ、業務改善の考え方、改善活動の手順、取り組み事例を掲載。近くホームページにもアップされる。

ニーズが増大する一方、生産年齢人口は減少し、介護人材の確保はより厳しくなる。その課題に対応するため、介護現場には生産性の向上が求められている。

居宅、施設のガイドラインでは、業務改善の取り組み事例を、①職場環境の整備②業務の明確化と役割分担③手順書の作成④記録・報告様式の工夫⑤情報はより厳しくなる。その課題に対応するため、介護現場には生産性の向上が求められている。

また、基調講演した田中滋・埼玉県立大理事長は「経営者が取組みの意義が分かって助け合わないと現場は混乱する」と語った。

(榎戸新)

いる。

同日は、生産性向上の意識を高めてもらうイベントが都内で開かれ、根本匠・厚労大臣は「紹介している取り組みを通じて人材の定着・確保や介護サービスの質の向上につなげてほしい」と期待した。